

アクティブコンピテンシー



「らしく生きる・生きるを応援する」を実践しつつ、
さらなる高い成果を上げる人の能力や思考・行動特性

アクティブコンピテンシー	定義	コンピテンシーディクショナリー
人間力	対象者の主体性を引き出し、能力開発を図るために必要となる能力	自己・他者理解 傾聴力、コミュニケーション 根気強さ、真剣さ、責任感 明るく元気、ユーモア 等
リハビリテーション マネジメント力	地域のお他職種とチーム連携・協業 でき、生活行為向上を図るために 必要となる能力	リハ・アセスメントスキル 計画管理・実行力 自律性、創造性 ネットワーク構築力 等
自己成長(啓発)力	スキル、知識の向上を怠らず、成 長に向けて不足部分を継続的に 補うための具体的な行動を行い続 ける能力	課題発見・分析力 前向きさ、謙虚さ、内省力 キャリアデザイン 情報収集 等

「らしく生きる・生きるを応援する」

心意気コアコンピタンス

聴く/話す力・技術

(1)クライアントセンタードアプローチ

- 共感できること
- 無条件に肯定、尊重すること
- 自己一致、自分であること

(2)ナラティブアプローチ

- 自分のことのように物語りに入り込む
- 自分らしさを探索してもらう
- コトバを待つこと
- 想いを溢れ出させる

(3)コーチング

- リフレーミング(オウム返し)、ミラーリング、ペーシングでラポール形成を図り、語りを引き出す人間関係を作る
- ストロークで“聴く・話す”の関係性を作る

行動に移して実践にチャレンジする力

(1)ポジティブアプローチ

- 個々の価値や強みに焦点。それらを拡大させ内側から出てくる“ありたい状態”を共有し、実行・仮説検証できる仕組みをつくる
- 個々のパフォーマンスを高める関わり

(2)ギャップアプローチ

- 従来のリハアプローチと同様
- 不足、低下、出来ないことに焦点
- それらを高める関わり

(3)リハマネジメント力

- アセスメント、スキル、知識、情報量、質、リスクマネジメント等

(4)リスクテイキング

- まずやってみなはれ精神(リスクヘッジ・マネジメントのもと)

(5)環境作り

- 一緒になってチャレンジできること
- 良い職場創り
- フレデリクソンの法則
- 周囲の人を巻き込む働きかけ



心意気マインド、心構え、あり方

(1)ストレングスモデル

- 強みを発見し、活かす視点

(2)エンパワメントアプローチ

- 利用者さまも自分も”らしく”いられること →お互いに成長出来る関係性

(3)人間力

- 前向き、謙虚、明るく元気、根気強さ、ユーモア、責任感… →当事者意識を持てること →内省、自己学習できること